

BFH(Baby Friendly Hospital)
赤ちゃんにやさしい病院

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長 天沼 史孝



妊娠・授乳中の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種について
今回は薬剤科よりご紹介します。

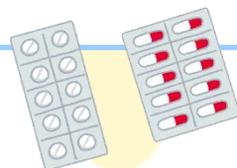


★授乳中の安全性について★

★副反応での解熱鎮痛剤の使用について★

ファイザー製ワクチン、モデルナ製ワクチンは、いずれもmRNAワクチンと呼ばれる新しいタイプのワクチンです。ワクチンの性質上、**母乳移行量は非常に少なく**、多少のワクチン成分を含んだ母乳を赤ちゃんが飲んだとしても、赤ちゃんに悪影響が及ぶとは考えられません。実際に授乳中の多くの赤ちゃんに問題はみられなかったとの報告もあります。このことから、授乳中のワクチン接種は問題ないと考えられます。

妊婦さんの場合、アセトアミノフェンは使用可能ですが、非ステロイド性抗炎症薬(イブプロフェン、ロキソプロフェン等)の妊娠後期の使用は避けるべきと考えられています。
授乳婦さんの場合、アセトアミノフェン、非ステロイド性抗炎症薬(イブプロフェン、ロキソプロフェン等)ともに安全に使用できると考えられます。



Q&A 妊娠中に新型コロナウイルスに感染した場合、母子感染のリスクはありませんか？

母子感染には妊娠中の胎内感染、出産時の産道感染、出生後の経母乳感染があります。新生児の感染事例の多くは出生後に母親を含めた周囲からのウイルス曝露によるものと考えられていますが、前述した胎内感染や産道感染を示唆する報告がいくつかあり、母子感染のリスクについてはゼロとは言えません。母乳を介した感染があるかどうかについては明確には分かっていませんが、WHO(世界保健機関)では母乳栄養によるメリットはそのリスクを上回るとしており、**感染した妊婦であっても母乳栄養(直接の授乳ではなく、搾乳による間接哺乳となります)を推奨**しています。産後の母乳栄養については、主治医とよく相談して決めるようにして下さい。

国立成育医療研究センター妊婦さんの新型コロナウイルス感染症より抜粋

おっぱいについてわからないこと、聞きたいこと、どうぞお気軽にご相談ください

《問い合わせ》岩手県立磐井病院 3西病棟
0191-23-3452 内線3051

